

平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年10月28日

上場会社名 SEホールディングス・アンド・インキュベーション 上場取引所 東
 ヨンズ株式会社
 コード番号 9478 URL <http://www.sehi.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 速水 浩二
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営企画部 部長 (氏名) 松村 真一 (TEL) 03-5362-3700
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月4日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)
 (百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績 (平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	3,230	△4.0	155	△22.9	169	4.3	121	70.0
28年3月期第2四半期	3,365	△2.8	201	467.8	162	—	71	—

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 44百万円(—%) 28年3月期第2四半期 △34百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	5.26	—
28年3月期第2四半期	3.05	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第2四半期	8,471	4,097	48.4
28年3月期	8,868	4,085	46.1

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 4,097百万円 28年3月期 4,084百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	1.40	1.40
29年3月期	—	0.00			
29年3月期(予想)			—	1.40	1.40

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想 (平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,500	△3.4	300	△20.5	260	△22.7	170	△33.5	7.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期2Q	23,484,226株	28年3月期	23,484,226株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	319,950株	28年3月期	319,950株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期2Q	23,164,276株	28年3月期2Q	23,469,511株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

●この決算短信は、金融商品取引法に基づく監査手続の対象外であり、この決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく財務諸表の監査手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

●本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「経営成績に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	P. 3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 3
(4) 追加情報	P. 3
3. 四半期連結財務諸表	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 10
(継続企業の前提に関する注記)	P. 10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 10
(セグメント情報等)	P. 10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、金融緩和等を背景として、個人消費は低迷しているものの企業収益や雇用環境の改善により引き続き緩やかな回復基調にありましたが、米国金利引き上げ見送り、英国のEU離脱によるEU圏経済の減速懸念、原油価格動向など主に海外要因による為替の著しい変動や株価の乱高下の局面もあり、景気の先行き不透明感が続きました。

このような状況下、当第2四半期連結累計期間における連結業績につきましては、売上高3,230百万円(前年同期比4.0%減)、営業利益155百万円(前年同期比22.9%減)、経常利益169百万円(前年同期比4.3%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益121百万円(前年同期比70.0%増)となりました。

セグメント別の業績については以下の通りです。

出版事業におきましては、新刊書籍の書店店頭販売、メディア広告、オンライン販売及び電子書籍販売などの主要各事業が引き続き好調さを維持したことにより、売上高1,343百万円(前年同期比18.3%増)、セグメント利益(営業利益)230百万円(前年同期比132.4%増)と増収増益になりました。

コーポレートサービス事業におきましては、制作スタッフの充実などの先行投資が効を奏しはじめ、新規クライアントからの受注引き合いが徐々に増加した結果、売上高369百万円(前年同期比8.2%減)、セグメント利益(営業利益)11百万円(前年同期比67.7%減)と黒字転換いたしました。

ソフトウェア・ネットワーク事業におきましては、第2四半期連結会計期間においてスマートフォンコンテンツ事業が回復した一方、依然としてゲームコンテンツ開発費用が増加した結果、売上高658百万円(前年同期比7.6%減)、セグメント損失(営業損失)28百万円(前年同期はセグメント利益136百万円)となりました。

インターネットカフェ事業におきましては、前期実施の不採算店舗閉鎖の影響があるものの、店舗内装設備更新など繁忙期における集客力向上策を実施した結果、売上高499百万円(前年同期比14.4%減)、セグメント利益(営業利益)3百万円(前年同期比57.2%減)と黒字転換いたしました。

教育・人材事業におきましては、前期に不採算子会社を売却したこと、及び医療業界向け人材紹介事業及びIT人材研修事業が好調さを維持したことから、売上高257百万円(前年同期比45.9%減)、セグメント利益(営業利益)41百万円(前年同期比372.3%増)と大幅増益になりました。

投資運用事業におきましては、一部保有債券の償還や投資運用量による受取利息・配当金の増加により、売上高101百万円(前年同期比88.6%増)、セグメント利益(営業利益)28百万円(前年同期比4.9%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、現金及び預金182百万円減少並びに受取手形及び売掛金108百万円減少を主因に、前連結会計年度末比397百万円減の8,471百万円となりました。負債については、有利子負債234百万円減少及び未払法人税等131百万円減少を主因に、前連結会計年度末比409百万円減の4,373百万円となりました。純資産については、利益剰余金89百万円増加及びその他有価証券評価差額金77百万円減少を主因に、前連結会計年度末比12百万円増の4,097百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、2,351百万円と前連結会計年度末比128百万円の減少(前年同期は157百万円の減少)となりました。

営業活動の結果得られた資金は45百万円(前年同期比79.3%減)となりました。収入の主な内訳は税金等調整前四半期純利益170百万円及び売上債権の減少108百万円であり、支出の主な内訳は法人税等の支払額172百万円及び営業投資有価証券の増加80百万円であります。

投資活動の結果得られた資金は74百万円(前年同期比184百万円増)となりました。収入の主な内訳は定期預金の払戻による収入70百万円並びに敷金及び保証金の回収による収入26百万円であり、支出の主な内訳は有形固定資産の取得による支出20百万円であります。

財務活動の結果使用した資金は242百万円(前年同期比8.4%減)となりました。収入の主な内訳は長期借入による収入100百万円及び短期借入金の純増80百万円であり、支出の主な内訳は長期借入金の返済による支出292百万円及び社債の償還による支出191百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の連結業績予想は、平成28年5月9日に公表しました連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間から適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

また、セグメント情報に与える影響は軽微であるため、記載を省略しております。

(4) 追加情報

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,585	2,403
受取手形及び売掛金	1,315	1,206
有価証券	10	-
営業投資有価証券	1,112	1,118
商品及び製品	792	747
仕掛品	101	144
原材料及び貯蔵品	14	16
繰延税金資産	67	54
その他	82	76
貸倒引当金	△6	△5
流動資産合計	6,076	5,763
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,519	1,522
減価償却累計額	△820	△848
建物及び構築物(純額)	698	674
土地	1,089	1,089
その他	714	723
減価償却累計額	△653	△664
その他(純額)	60	58
有形固定資産合計	1,849	1,822
無形固定資産		
その他	48	43
無形固定資産合計	48	43
投資その他の資産		
投資有価証券	255	214
敷金及び保証金	369	342
繰延税金資産	139	156
その他	141	139
貸倒引当金	△12	△12
投資その他の資産合計	894	841
固定資産合計	2,792	2,708
資産合計	8,868	8,471

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	380	382
1年内償還予定の社債	295	188
短期借入金	1,230	1,140
未払法人税等	168	36
賞与引当金	42	44
返品調整引当金	106	74
その他	430	429
流動負債合計	2,654	2,296
固定負債		
社債	1,006	1,022
長期借入金	684	630
役員退職慰労引当金	83	84
退職給付に係る負債	287	296
資産除去債務	27	27
再評価に係る繰延税金負債	7	7
その他	33	8
固定負債合計	2,128	2,077
負債合計	4,783	4,373
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,534	1,534
資本剰余金	1,769	1,769
利益剰余金	727	816
自己株式	△60	△60
株主資本合計	3,970	4,060
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	97	20
土地再評価差額金	16	16
その他の包括利益累計額合計	113	36
非支配株主持分	0	0
純資産合計	4,085	4,097
負債純資産合計	8,868	8,471

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	3,365	3,230
売上原価	2,064	2,026
売上総利益	1,300	1,203
返品調整引当金繰入額	2	-
返品調整引当金戻入額	-	32
差引売上総利益	1,297	1,235
販売費及び一般管理費	1,096	1,080
営業利益	201	155
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	0	0
投資有価証券売却益	-	2
為替差益	-	28
受取家賃	2	1
償却債権取立益	1	0
その他	4	5
営業外収益合計	9	39
営業外費用		
支払利息	19	15
社債発行費	7	4
支払保証料	5	4
為替差損	0	-
その他	15	0
営業外費用合計	48	25
経常利益	162	169
特別利益		
固定資産売却益	0	0
投資有価証券売却益	5	1
新株予約権戻入益	0	-
特別利益合計	6	1
特別損失		
固定資産売却損	0	-
固定資産除却損	4	0
減損損失	3	-
店舗撤退損失	21	-
のれん償却額	0	-
倉庫移転費用	9	-
特別損失合計	41	0
税金等調整前四半期純利益	127	170
法人税、住民税及び事業税	28	42
法人税等調整額	29	5
法人税等合計	57	48
四半期純利益	69	121
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益	71	121

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益	69	121
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△104	△77
土地再評価差額金	0	-
その他の包括利益合計	△104	△77
四半期包括利益	△34	44
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△33	44
非支配株主に係る四半期包括利益	△1	△0

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	127	170
減価償却費	66	52
長期前払費用償却額	5	3
減損損失	3	-
のれん償却額	1	-
新株予約権戻入益	△0	-
店舗撤退損失	21	-
倉庫移転費用	9	-
投資有価証券売却損益(△は益)	△5	△3
固定資産除却損	4	0
固定資産売却損益(△は益)	△0	△0
社債発行費	7	4
為替差損益(△は益)	△0	△25
貸倒引当金の増減額(△は減少)	10	△1
賞与引当金の増減額(△は減少)	3	1
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	2	0
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	5	9
返品調整引当金の増減額(△は減少)	2	△32
受取利息及び受取配当金	△1	△0
支払利息	19	15
売上債権の増減額(△は増加)	337	108
たな卸資産の増減額(△は増加)	△33	△0
仕入債務の増減額(△は減少)	△73	2
営業投資有価証券の増減額(△は増加)	△131	△80
未払金の増減額(△は減少)	△42	△13
未払消費税等の増減額(△は減少)	△55	△15
未収消費税等の増減額(△は増加)	-	1
その他	△43	29
小計	242	227
利息及び配当金の受取額	0	0
利息の支払額	△17	△14
法人税等の支払額	△26	△172
法人税等の還付額	18	3
営業活動によるキャッシュ・フロー	217	45

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△50	△6
定期預金の払戻による収入	-	70
有形固定資産の取得による支出	△41	△20
有形固定資産の売却による収入	0	0
無形固定資産の取得による支出	△20	△4
投資有価証券の取得による支出	-	△0
投資有価証券の売却による収入	7	9
長期前払費用の取得による支出	△1	△1
敷金及び保証金の差入による支出	△5	-
敷金及び保証金の回収による収入	0	26
投資活動によるキャッシュ・フロー	△110	74
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△23	80
長期借入れによる収入	525	100
長期借入金の返済による支出	△482	△292
社債の発行による収入	192	95
社債の償還による支出	△362	△191
リース債務の返済による支出	△2	△1
新株予約権行使による収入	3	-
自己株式の取得による支出	△59	-
子会社の自己株式の取得による支出	△11	-
配当金の支払額	△33	△32
非支配株主への配当金の支払額	△2	-
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△6	△0
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△264	△242
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	△5
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△157	△128
現金及び現金同等物の期首残高	2,745	2,480
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,588	2,351

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント							調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	出版	コーポ レート サービス	ソフト ウェア・ ネット ワーク	インター ネット カフェ	教育・ 人材	投資運用	計		
売上高									
(1)外部顧客に対する売上高	1,135	402	713	584	475	53	3,365	—	3,365
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	20	—	30	—	6	—	56	△56	—
計	1,155	402	743	584	481	53	3,421	△56	3,365
セグメント利益	99	35	136	9	8	29	319	△117	201

(注) 1 セグメント利益の調整額△117百万円には、セグメント間の内部取引消去21百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△139百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない当社の売上原価及び一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント							調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	出版	コーポ レート サービス	ソフト ウェア・ ネット ワーク	インター ネット カフェ	教育・ 人材	投資運用	計		
売上高									
(1)外部顧客に対する売上高	1,343	369	658	499	257	101	3,230	—	3,230
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	9	—	26	—	12	—	48	△48	—
計	1,352	369	685	499	270	101	3,279	△48	3,230
セグメント利益又は セグメント損失(△)	230	11	△28	3	41	28	286	△131	155

(注) 1 セグメント利益の調整額△131百万円には、セグメント間の内部取引消去19百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△150百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない当社の売上原価及び一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。